

連続講座

# ママも、にんげん ～女(わたし)を見つめる3日間～

ママとは、女性とは、いったい何なのでしょう？  
目まぐるしく過ぎる毎日の家事・育児から少し離れて  
学び、感じ、語り合ってみませんか。



第1回

6月15日(木)  
午前10時～12時

キソから知りたい！『ジェンダー』って結局なんだっけ？  
近年よく耳にする『ジェンダー』について、改めておさらい。女性として  
なんとなく感じるモヤモヤの正体を可視化し、既存の母親像にとらわれな  
い一人の女性としての「自分らしい生き方」について考えましょう。

第2回

6月23日(金)  
午前10時～12時

私の身体はだれのもの？『出産』から考える女性の権利  
学生時代は「妊娠はいけないこと」だったのに、結婚したとたんに「子ど  
もはまだ？」「二人目は？」と言われる。なぜ私たちは「出産」をめぐる  
て振り回されるのか、その背景を探ってみましょう。

第3回

6月29日(木)  
午前10時～12時

映画『第三夫人と髪飾り』を観てみんなでトークしよう！  
北ベトナムの神秘的で壮大な自然を背景に圧倒的な映像美で繰り広げられ  
る官能的なストーリーの中から、時代を超えて女性に課せられた様々な  
テーマを見つけ出し、自由に感想を語り合いましょう。

- ☆対象 子育て中の母親 30名(申込先着順)  
※原則、3回全てにご参加いただきます
- ★会場 葛飾区男女平等推進センター(立石5-27-1 ウィメンズパル内)
- ☆受講料 無料
- ★保育 1歳以上就学前までのお子さん 定員6名(先着順)  
※お子さんの同席はご遠慮ください。
- ☆申込方法 5月17日(水)午前9時より電話かオンライン申請にて

お申し込み・お問い合わせ

葛飾区男女平等推進センター  
TEL: 03-5698-2211



区ホームページからも申し込みできます

葛飾区 イベント 6月 検索

## 講師紹介

### ●第1回●

#### キソから知りたい! 『ジェンダー』って結局なんだっけ?

##### 石井クンツ昌子さん

お茶の水女子大学理事・副学長(研究・国際交流・男女共同参画担当)。ワシントン州立大学で博士号取得後、カリフォルニア大学リバーサイド校で20年間教鞭を執り、2006年にお茶の水女子大学に着任。2020年にお茶の水女子大学名誉教授。2021年から現職。2022年からはジェンダード・イノベーション研究所長を兼務。専門は家族社会学とジェンダー研究で、1980年代初頭から日本、米国、北欧諸国にて父親の家事・育児や家庭内性別役割分業について研究を重ね、2012年に全米家族関係学会の国際的な家族社会学研究者へ贈られる「Jan Trost賞」を受賞。日本家族社会学会会長、日本社会学会理事、日本家政学会家族関係部会役員、日本学会協議連携会員、内閣府男女共同参画会議専門委員などを歴任。国際的活動としては、国連家族年の基調講演、国連専門家会議メンバー、全米社会学会や全米家族関係学会等の分科会委員長・委員などがある。著書に『「育メン」現象の社会学: 育児・子育てに参加への希望を叶えるために』(ミネルヴァ書房)、*Comparative Perspectives on Gender Equality in Japan and Norway: Same but Different?* (Routledge)など多数。



### ●第2回●

#### 私の身体はだれのもの? 『出産』から考える女性の権利

##### 大橋由香子さん

出版社勤務を経て、フリーライター・編集者、大学非常勤講師。

『ニンプ・サンブ・ハハハの日々』(社会評論社)『キャリア出産という選択』(双葉社)など育児・健康関係のほか、『生命科学者 中村桂子』『同時通訳者 鳥飼玖美子』(理論社)『満心愛の人 フィリピン引き揚げ孤児と育ての母』(インパクト出版会)など女性の伝記を執筆。『千代田区女性史1996~2020』企画委員・編集委員リーダー。共編著に『異文化から学ぶ文章表現塾』(新水社)『福島原発事故と女たち』(梨の木舎)『働く/働かない/フェミニズム』(青弓社)ほか。雑誌「エトセトラ」で「Who is she?」、光文社古典新訳文庫サイトで女性翻訳家インタビューを連載中。

最新の論文は「避妊・中絶への自己決定権を求めて」『世界』2023年4月号、岩波書店。「SOSHIREN女(わたし)のからだだから」などセクシュアル&リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康・権利)をめぐる活動にも参加。



## 作品介绍

19世紀の北ベトナム。14歳のメイは絹の里を治める富豪のもとに、三番目の妻として嫁いでくる。穏やかでエレガントな第一夫人には息子がひとり、美しく魅惑的な第二夫人には娘が三人いたが、一族にはさらなる男児の誕生が待ち望まれていた。やがて、まだ無邪気だったメイは、この家では世継ぎを産んでこそ“奥様”になれることを知る。若き第三夫人がやってきたことで静かな里はさざめきたち、女たちのドラマが幕を開けるのだったー。ニューヨーク大学で映画製作を学んだベトナムの若手女性監督アッシュ・メイフェアが、自身の曾祖母から聞いた話をベースに撮り上げた女性映画。官能描写を織り交ぜつつ、静謐かつ透明感あふれる映像美で綴る。



© copyright Mayfair Pictures.

### お申し込み・お問い合わせ

葛飾区男女平等推進センター  
TEL: 03-5698-2211

